

平成 28 年度 熊本市駐車場公社交通対策活動助成金

## 「平成 28 年熊本地震」を経験して、大地震の際の駐車場の役割を探る。

主催 東海大学 熊本キャンパス 現代教養センター 新田時也研究室

趣旨 このたびの熊本大地震では、多くの被災者の方が駐車場のスペースを避難所として活用されました。本調査は、熊本市内の駐車場がどのようなかたちで大地震の際に利用されたのか、その実態調査と、そこから浮かび上がる教訓を見出すところに目的があります。

**「平成 28 年熊本地震と駐車場」のテーマで、体験談やご意見をお寄せください。**

**お寄せいただきたい内容：**今回の熊本地震で、「駐車場」が一時避難場所、救護施設、食事（炊き出しの場）、等々、被災の際、どのように有効活用されて、駐車場が、どのように役立ったか。あるいは 困ったこと。今後の災害のためのご意見、コメント、等々。「平成 28 年熊本地震と駐車場」のテーマで、ご自由に。

たとえば、次のようなご意見も 寄せられています。;

「大地震では城下町もとにかく駐車場が不足して困りました。城下町の建物の被害はひどく、指定避難先の小学校、中学校などの運動場は避難者の車で満杯でした。一新小学校だけでも避難者のピークは 2000 人いました。宿泊避難者がいた古城堀端公園は、宿泊している人は減ったけれど今も 50 台が避難駐車しています。」

いただいた文章は冊子にして提言、成果を講演会で発表いたします。

**募集期間：2016 年 7 月 1 日（金）から同年 9 月 30 日（金）。3 か月。**

**応募資格：**平成 28 年熊本地震を被災された方（熊本市内以外でも可）。

**分量：**200 字から 400 字程度。

**送り先：**新田時也研究室（アドレス：tokiya@scc.u-tokai.ac.jp）

あるいは、FAX. 096-381-7956（新田時也宛とご明記ください）。

\* お住まい（住所）、お名前、ご年齢、お職業、ご連絡先（お電話番号、等）を明記ください。いただいた個人情報は 今回の「駐車場と災害」の調査以外には使用いたしませんし、外部に漏らすこともございません。

以上

お問い合わせ先： 東海大学 熊本キャンパス 現代教養センター 新田時也研究室

アドレス tokiya@scc.u-tokai.ac.jp

携帯 090-6155-9118